

## 単位授与・履修認定（進級・卒業認定）について

本校は実践的技術力と知性・感性豊かな創造性を兼備えた実務能力を養い、基礎教育と実技主体の実践教育を通して専門教育を徹底し、豊かな人間性に富んだ社会人を育成することを目標としている。その卒業・進級要件については、各学科が定める所定の全授業科目を所定の年次に全て合格することなどを定めた「ディプロマポリシー（修了認定の方針）」及び「進級・卒業判定基準」を策定し、教務規定・学生便覧などに記載している。また、HPでも公表する。尚、卒業・進級の認定は以下に示す基準による。

### （卒業・進級認定基準）

項目	進級	卒業	備考
欠席総日数	昼間部 20日以内	左に同じ	遅刻・早退等の 換算日数を含む
	夜間部 30日以内		
科目評価	合格	左に同じ	日常の授業態度等を加味した評価。
課題	全課題提出完了 合格	左に同じ	
学費	完納	左に同じ	
進級・卒業 制作課題	合格	左に同じ	

※欠席総日数の内、次の事由による場合は考慮する。

- ・災害などの不可抗力により出席できない旨届出があり、正当と認められた場合。
- ・病気欠席により、5日以上長期に及ぶ場合で、理由書、診断書等の提出がなされた場合。
- ・夜間部では、勤務先に於ける業務都合により長期出張など予め届出があり校長が認めた場合。
- ・その他、校長が正当と認めた場合。

当校では上記の基準に則り、校長、副校長、学部長、科長、担任などで構成される成績会議において、卒業・進級の認定を適正かつ厳格に実施している。

## 成績評価基準及び GPA 制度について

本校では 2019 年度より、教務規定第 1 4 条において、GPA (Grade Point Average) 制度を導入し、学内の成績評価として使用する。GPA は学生の履修した 1 単位あたりの平均成績を指す。当校では、就職の学内推薦枠の候補者選定や、独自特待生奨学金、学業優秀者の表彰候補者選出などに活用する。学業成績は、科目ごとに授業到達目標を定めた、ルーブリック (学習成果水準) を作成する。このルーブリックを活用することによって講義科目と実技科目の両科目において、学生の学習成果の到達度を適正に数値化することが出来ると考えている。また、評価には担当講師及び本校関係教員が協議の上、評価する。その際には、定期試験の成績のみならず小テスト及び出欠席、修学態度等を加味し、総合的に判断する。各授業の評価は 10 点満点を基準として、5 点以上を合格としている。合格者の中でも、評価点数により 10~9 を S、8 を A、7~6 を B、5 を C として換算し、学生に成績が通知される。この基準は教務規定・学生便覧などに記載している。また、HP でも公表する。GPA は以下のように算出する。

(GPA の算出方法)

科目ごとの GP (点数×単位数) の総合計 = GPT ÷ 総履修単位数 (不合格科目も含む)

### 成績評価

評価	点数	合否	指標	単位	GP
S	10	合	4	各科目で定められた単位数 (シラバス等参照)	点数×単位数
	9	合			
A	8	合	3		
B	7	合	2		
	6	合			
C	5	合	1		
D	4	否	0		
	3	否			
	2	否			
	1	否			

※GP とは GPA の算出に用いられるポイントで、科目ごとに算出するポイントの事。

※GPT とは GPA の算出に用いられるポイントで、全科目の GP の合計ポイント。

※GPA とは履修した科目の GP の平均ポイントのこと。以下の式で算出される。